

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
建築設計科											
建築史											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	天野 奈緒			実務 経験	有	職種	建築設計				
授業概要											
建築様式を系統的に学び・美意識の変遷、デザインと建築技術の関係を理解します。											
到達目標											
次の3点を到達目標とする。①西洋建築の建築様式を習得する。②日本建築の建築様式を習得する。③全体を通じ、建築と人の成り立ちの根源から現在に至るまでの流れと、地域・宗教・文化・民族・生活などと建築の関係を理解する。											
授業方法											
建築の歴史や様式を系統的に学び、美意識の変遷、デザインと社会的な動向、建築技術との関係を理解する。原則として教科書に沿って講義を進め、ポイントを理解するためVTRなどを有効的に使用する。											
成績評価方法											
授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する											
履修上の注意											
授業には集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院 授業心得（学生用）を守ること。											
教科書教材											
コンパクト版 建築史 日本・西洋 彰国社											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション：建築史の授業概要について理解する。										
第2回	古代オリエント・エジプト・古代ギリシャの建築様式について理解する。										
第3回	古代ローマ・初期中世の建築様式について理解する。										

建築史

第4回	ロマネスク建築・ゴシック建築の建築様式について理解する。
第5回	ルネサンス建築の建築様式について理解する。
第6回	バロック建築の建築様式について理解する。
第7回	18・19世紀の建築の建築様式について理解する。
第8回	20世紀の建築の建築様式について理解する。
第9回	縄文～平安（寺院・神社）の建築様式について理解する。
第10回	飛鳥～平安（宮殿・住宅）の建築様式について理解する。
第11回	中世 鎌倉～室町の建築様式について理解する。
第12回	近世 桃山～江戸の建築様式について理解する。
第13回	近代～現代の建築様式について理解する。
第14回	誕生から現代までの建築様式について理解する。
第15回	全体のまとめ、期末試験対策について理解する。